

「沼津市自転車ネットワーク計画更新(案)」に関する意見募集の結果について

「沼津市自転車ネットワーク計画更新(案)」について、パブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見・ご質問をいただきました。ご協力ありがとうございました。いただいたご意見や市の考え方、計画への反映については、下記のとおりとさせていただきます。

1. パブリックコメントの実施状況

- 実施期間：令和5年12月18日(月)～令和6年1月16日(火)
- 意見提出：1通(1人:男性1人)
- 意見数：1件
- 提出方法：持参:0通、電子メール:1通、FAX:0通

2. 提出された意見等及び市の考え方

番号	提出日	意見の内容(要約)	意見に対する考え方	修正の有無
1	1/16	<p>西浦地域は、ネットワーク計画の南部エリアに位置づけられ、計画更新の目的にもある通り「オリンピックを契機に、海岸線の道路を利用する(高速・隊列走行するスポーツ)サイクリストが増えてきた」=危険度が増していることを実感しています。</p> <p>しかしながら海岸線については「基本方針3：観光・地域資源を活用した自転車の利用促進」のみです。交通量・混雑状況は市街地に比較して少ないのはデータが示す通りですが、安全・安心改善を置き去りのままの促進は問題視せざるを得ません。</p> <p>これを機に西浦地域(住民)としての意見を以下に述べてさせていただきます。</p> <p>1) 活性化と安心安全の不成立： 西浦地区の海岸線は全国でも有数の景観と、適度なアップダウンとカーブが続き、サイクリングだけでなく、ジョギング・ウォーキングに適した環境資源を有しており、「自転車ネットワーク計画」には基本的に賛同致します。</p> <p>しかしながらその自転車コース=県道は、①狭くボトルネックが多く、②強風時に潮をかぶり、③ところどころ樹木が覆い被さり、④歩道整備も途切れ途切れ、⑤休憩や観光のお店も少ない、という「残念なコース」であると共に大変「危険なコース」になっていると感じます。</p> <p>そのような状況で、西浦地区からの道路拡幅要望などは置き去りのまま、沼津市自転車ネットワーク計画がスタートし、オリンピックを契機にサイクリストが増加したことから、地域では「交通の邪魔になる危険なサイクリストが増加！」という辛辣なイメージが固定化しています。</p> <p>2) 安心・安全の確保： 今回の見直しを契機に安全性の改善を最優先の目標に据え、①道路の拡幅、②防潮対策の推進、③中長期的な樹木の整備または石垣化、④歩道・サイクリング道の整備、⑤観光店舗の誘致などを推進し、その上で計画更新をすべきと考えます。</p> <p>これら全部を実施するのは困難と思いますので、安全を中心に優先順位をつけ、今後の計画更新を強く要望致します。</p>	<p>本計画は、安全で快適な自転車通行空間を効果的・効率的に整備することを目的に、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態を示した計画であり、自転車通行空間の整備は、路面標示等により自転車の走行位置を明示し、自動車や歩行者と分離することで、安全で快適な自転車利用環境の整備を進めることを目的としています。</p> <p>「沼津土肥線」は、沼津市自転車ネットワーク計画において、基本方針3「観光・地域資源を活用した自転車の利用促進」の観点から自転車ネットワーク路線として選定しております。</p> <p>また、国のナショナルサイクルルート(太平洋岸自転車道)にも指定されており、大変魅力的なコースで、多くのサイクリストが訪れています。</p> <p>本路線においても、自転車の利用状況や道路整備状況、交通状況から車道混在(矢羽根型路面表示)で整備されているところでもあります。</p> <p>自動車や自転車、歩行者の安全性を確保するために、静岡県において、本路線における危険な箇所の道路改良を順次、取り組んでいるところでもあります。また、走行環境の維持管理につきましても、引き続き適切な管理がされるように静岡県と連携してまいります。</p> <p>なお、上位計画である「沼津市自転車活用推進計画」において、交流人口の拡大を目的に観光振興における取組を定めソフト対策の推進を図っており、今後も、ハード整備・ソフト対策に取組むことで、自転車の利用環境の向上を図ってまいります。</p>	無